PRESS RELEASE

System of Culture 個展
「Exhibit 8 Pieces of Narratives」
2025 年 11 月 12 日（水）– 12 月 27 日（土）

「Boxing Glove and Books」2025, Archival Pigment Print, 40 × 60 cm

MAHO KUBOTA GALLERY では、11 月 12 日より、System of Culture 個展「Exhibit 8 Pieces of Narratives」を開催いたします。

2017 年に 3 人のアーティストによるコレクティブとして結成された System of Culture（システム・オブ・カルチャー）は、現在では小松利光のアーティストネームとして活動を継続しています。
System of Culture は、SNS や AI の普及によって日々膨大な情報とイメージにさらされる現代社会の状況を、芸術表現の主題としてメタ的な視点から捉え、美術史との接続を意識しながら実験的な作品を制作しています。

System of Culture の表現は主に写真というメディアを通して展開されます。その写真は、ドキュメンタリーやスナップショットのように瞬間を捉えるものではなく、構図、ライティング、モチーフの選定に至るまで、綿密なコンセプトに基づいて構築された総合的な表現です。この手法により、「Still Life」「The Setting Sun」「Landscape」など、複数のテーマに基づく作品群が生み出されてきました。

代表作のひとつ「Still Life」は、西欧絵画の主要な主題である静物画を現代の視点から再解釈するプロジェクトです。伝統的な構図の中に現代的なモチーフを記号的に挿入することで、写真の発明によって一度は切り離された絵画と写真の関係を再接続しようと試みています。「Landscape」では、東洋絵画に見られる多層的な遠近法を複数の撮影シーンを組み合わせて再構成し、新たな風景の在り方を提示しました。また「The Setting Sun」では、通常、写真表現では捉えがたい身体的な感覚を、モチーフとその扱いとの絶妙な組み合わせによって可視化しています。

一方、「Then, Passed over」シリーズでは、ナラトロジー（物語論）の概念を作品に導入しました。このシリーズでも、撮影は時間をかけて計画的に行われていますが、モチーフやロケーションの選定に AI を採用することで、アーティストの恣意をあえて部分的に排除し、個人の物語を超えた集合的なナラティブの生成を試みています。アノニマスでランダムなイメージをもつ写真群が、観る者の内に物語を想起させ、それぞれの固有のナラティブを見出すことを促すプロジェクトでもあります。

本展で発表する「Pieces of Narratives」は、この「Then, Passed over」をさらに発展させた新シリーズです。本作は 31 枚の写真によるインスタレーションで構成され、「複数枚の写真からなる物語のデータベース（物語になる可能性をもつ写真群）」というアーティスト自身の言葉の通り、ランダムなイメージの断片が鑑賞者の前に提示されます。
System of Culture は、写真の中に物語を構成する要素を潜ませつつ、AI によるモチーフやロケーションの選定を通じて、作家の意図を超えたイマジネーションの余白を生み出します。これにより、作品は鑑賞者の内に潜むナラティブを引き出す装置として機能します。

また本展にあわせ、文筆家・伊藤亜和、脳科学者・中野信子、アーティスト・布施琳太郎の 3 名に、31 枚の作品から自由に数点を選び、選んだイメージをもとに触発された短編テキストを執筆していただきました。これらのテキストも作品の一部として展示される予定です。
こうした多層的な仕掛けを通じて、展覧会空間は、鑑賞者が作品に潜むコードを読み取り、自らの物語を紡ぎ出す、インタラクティブなナラトロジーの実践としての思考実験の場となるでしょう。

「Car Headlights」2025, Archival Pigment Print, 40 × 60 cm

「Boiling Pot」2025, Archival Pigment Print, 60 × 40 cm

System of Culture | システム・オブ・カルチャー

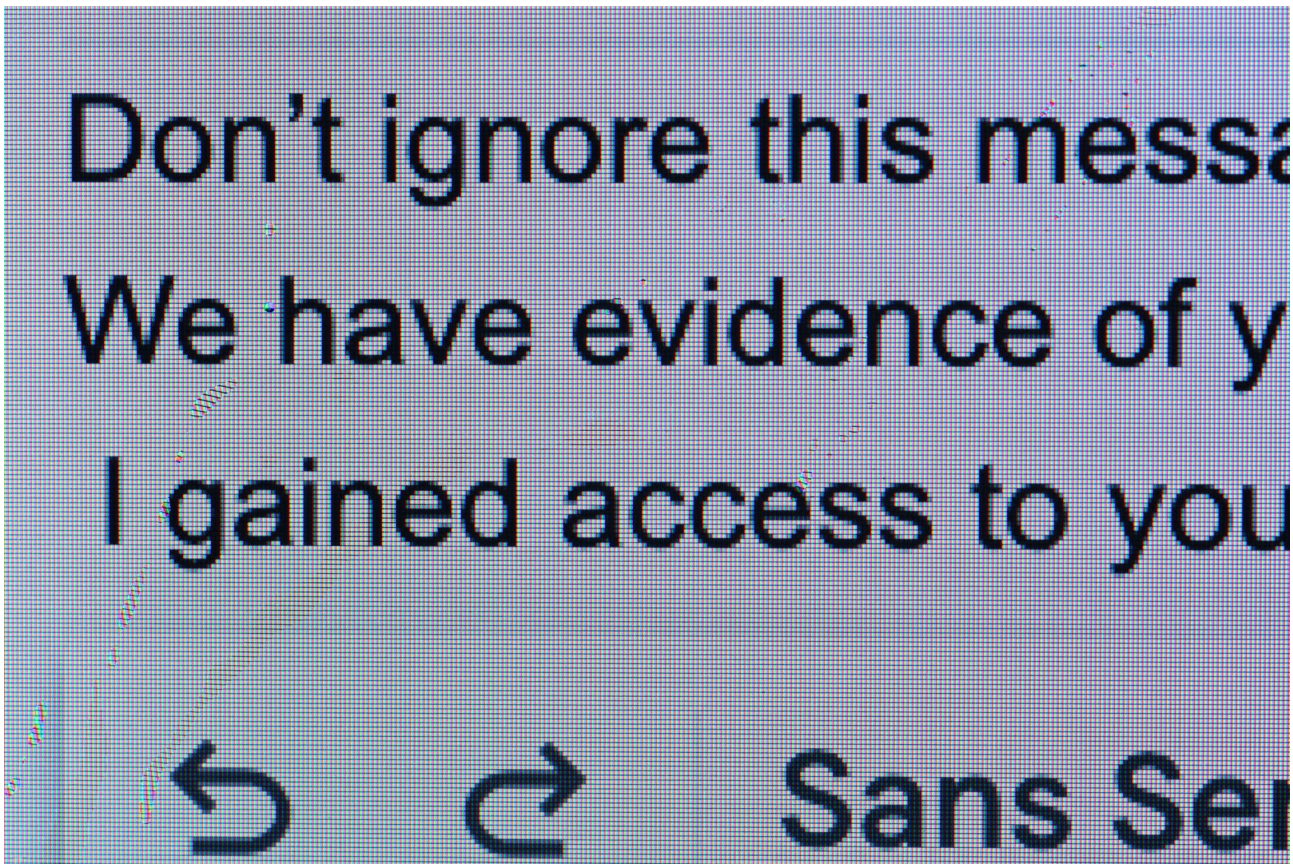
System of Culture は 2017 年に三人で結成したアート・コレクティヴ。現在は小松利光（こまつ としみつ）のアーティストネームとして継続している。小松利光は 1989 年東京生まれ。武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科卒業。コレクティヴ結成前、深夜のファミレスで映画やドラマ、SNS の投稿などについての雑談を毎週のようにしていたことがきっかけとなり、小松の実家の一室を使って静物写真をベースに活動を始める。

2021 年「JAPAN PHOTO AWARD 2021」 Patricia Karallis 賞受賞、2022 年「VOCA 展 2022 現代美術の展望―新しい平面の作家たち―」選出。主な個展に、2022 年「Exhibit 4」CALM & PUNK GALLERY、2024 年「Exhibit 6」parcel。2025 年 11 月に MAHO KUBOTA GALLERY にて個展「Exhibit 8 Pieces of Narratives」開催。作品集に『Book 1』（2017 自費出版）、『Book 2』（2024 自費出版）がある。2025 年 12 月に『Pieces of Narratives』（ユナイテッドヴァガボンズ）を出版。

[展覧会概要]

展覧会名：System of Culture 個展「Exhibit 8 Pieces of Narratives」
会期　　：2025 年 11 月 12 日（水）– 12 月 27 日（土）
　　12:00 - 19:00　（日・月・祝日休廊）
会場　　：MAHO KUBOTA GALLERY、東京都渋谷区神宮前 2-4-7 1F
　　Tel 03-6434-7716 / Email info@mahokubota.com
　　http://www.mahokubota.com

会期中は限定版作品集やポスターの販売、関連イベントも予定。
最新情報は SNS およびウェブサイトにて発信いたします。



「An Email」2025, Archival Pigment Print, 40 × 60 cm

「Suitcase on the Floor」2025, Archival Pigment Print, 40 × 60 cm

[書誌情報]

タイトル　：Pieces of Narratives
著者　：System of Culture
デザイン　：佐久間磨（Rondade）
編集　：菅付雅信＆アレクサンドラ・プリマック（ユナイテッドヴァガボンズ）
テキスト　：ルーカス・フェアレス、金秋雨／キン・シュウウ、伊藤亜和、中野信子、布施琳太郎
仕様　：B4 変形／ハードカバー／80 ページ
日本国内刊行日：2025 年 12 月上旬（※11 月 12 日よりギャラリー先行発売。一般書店は 12 月上旬）
定価　：7,000 円＋税

[限定版の発売]
限定版を 100 部発売。本書＋サイン付きの特製プリント＋ボックスという体裁。予価２万円＋税。発売は MAHO KUBOTA GALLERY と 12 月の TOKYO ART BOOK FAIR のユナイテッドヴァガボンズのブースにて。

[限定ポスターの発売]
System of Culture のイメージを用いて、Rondade のデザインによる限定版ポスターを制作・販売予定。限定 100 枚。